

第九中学校だより

～ 挑戦と成長 ～

学校では、10月4日(土)の体育大会を控えています。日本では、9月中旬に東京国立競技場で世界陸上競技選手権大会が行われていました。TVでも連日白熱した様子が放映されており、視聴していた人も多いのではないのでしょうか。初日の競歩では、日本人選手が銅メダルを獲得したことを皮切りに、様々な種目で活躍が見られました。その中でも、特に男子110mハードルで、村竹ラシッド選手が見事5位入賞を果たしました。昨年のパリ五輪でも5位となっており、世界の舞台で2年連続入賞という結果は、日本のアスリートとして大きな誇りです。決勝では13秒18のタイム。惜しくもメダルには届かなかったものの、前回のパリオリンピックでのメダルとの差が0.12秒でしたが、今回0.06秒にまで縮まったという事実は、村竹選手がこの一年、並々ならぬ努力を重ねてきた証明でもあります。

その努力の内容は具体的です。冬季から2部練習を多く組み、「土台づくり」やスプリント力の強化、柔軟性を上げること、そして特に課題だった「抜き脚」の軌道改善に取り組んできたといいます。レース前には「まだ練習がしたい」と言うほど“準備”に時間をかけたそうです。

準決勝を2着で通過し、決勝へ。決勝では隣に世界最強クラスの選手を置く中、「自分のやりたいことができなかつた」と振り返る部分もありましたが、それでも大勢の観客からの声援の中、最後まで走りきりました。観客席に向かって手を合わせる姿からは、自分を支えてくれた人々への感謝と、悔しさと希望が入り混じった強い思いが伝わってきました。

また、村竹選手には“楽しむ心”もあります。スタート前にはアニメ「ジョジョの奇妙な冒険」の“プッチ神父”のポーズを決める「ジョジョ立ち」を披露。文字で表すのは難しいのですが、身体をやや傾けながら右手を腰に、左手の指を上に向けてポーズしています。スタート前の緊張する場面でも、自分なりの“おまじない”として大舞台を楽しもうとする姿勢は、多くの人に元気を与え、いわゆる“バズる”状態になりました。

決勝後、涙もこぼれました。レース直後にインタビューでは「何が足りなかつたんだろうって、何が今まで間違っていたんだろうって、パリ終わってからの1年間、本気でメダルとりに必死に練習して、何が足りなかつたんだろうって…すみません」と泣き崩れます。「たくさんの人に見守ってもらって一人のアスリートとして本当に幸せです」と声を振り絞りました。「ひたすらに悔しい」と何度も言い、「次は絶対にメダルを取ります」と強く誓っています。結果だけでなく、その過程での葛藤・努力・悔しさ・感謝が、村竹選手をさらに強くしているように思えます。

0.01秒でもタイムを縮めるために精一杯努力し続けようとする村竹選手の姿は、私たちにとって学びになるのではないのでしょうか。大きな夢を持ち、それに向かって日々努力を重ねること。失敗や悔しさも成長の糧になること。応援してくれる人々の存在を忘れないこと。そして、なによりも、自分なりの楽しみや工夫を持つことで、どんな挑戦も前向きに続けられるということです。

これから先、それぞれが自分の「ステージ」に立つ時、村竹選手のように「しっかりとした準備」を怠らないことや「自分の全力を尽くす姿勢」を忘れずに歩んでいきたいですね。

令和7年度敬老記念式典

寝屋川市立中学校代表生徒として、生徒会長である さんが「長寿社会づくり都市宣言」を朗読してくれました。聞き手に内容を正確に、とてもわかりやすく、まるでプロのナレーターのようにでした。

自転車安全利用講習会

9月18日（木）6限目、1年生対象に自転車安全利用講習会を実施しました。
寝屋川警察署の方に来ていただき、自転車について、ルールに関する話や交通安全DVDの視聴などを学びました。

10月の行事予定（変更になる場合もあります）

日	曜日	主な行事予定
4	土	体育大会（雨天時；月3～6 45分×4限 簡単清掃） <給食なし・弁当持参>
6	月	体育大会代休
7	火	生徒朝礼
8	水	体育大会予備日
9	木	テスト一週間前
15	水	創立記念日
16	木	中間検査一日目 <給食なし>
17	金	中間検査二日目 <給食なし>
20	月	45分×4限 <給食なし>
24	金	支援学級見学会（9:45～11:35）
31	金	学習発表会

11月の主な行事予定（変更になる場合もあります）

11月 4日（火）	3年卒業アルバム・進路用写真撮影（2、3限）
11月 6日（木）	後期生徒会役員選挙 三者懇談（～11/11）
11月 13日（木）	3年実力検査
11月 15日（土）	土曜参観
11月 17日（月）	代休
11月 26日（水）	期末検査（～11/28）